

2団体4人に学長賞

県立大 地域活動や論文評価

県立大(総社市窪木)への積極的な参画や、「おむすび」(8人)

は、研究や課外活動で論文発表の実績が評価
▽大学院保健福祉学研
究科影山鈴美さん▽同

・団体を表彰する学長 受賞したのは、デザ
植盛晴菜さん▽同早川

賞の2022年度受賞 イン学部畠研究室(7
智紗さん▽大学院情報

者を決めた。まちづく 人)▽保健福祉学部栄
系工学研究科原佑輔さ

り、福祉など地域活動 養学科の学生グルー
んの2団体と4人。



学長賞を受賞した学生ら

畠研究室は、津山市の旧幼稚園舎改修で同市景観賞を受賞。昨年オープンした井原鉄道総社駅待合スペースと同駅前の子育て支援拠点でも、デザイン監修などに携わった。
「おむすび」は子ども食堂と連携して弁当配布やフードドライブを展開する。子どもらが食に興味を持つきっかけを作り、岡山市主催の「学生イノベーションチャレンジ推進コンテスト」で準グランプリに選ばれた。

影山さんは重度心身早川さん、原さんは、障害児(者)を対象に人材育成の産学官プロジェクト「吉備の杜」があり、沖陽子学長が信を持って進んでほしい」と激励した。
論文を発表。植盛さんの課題解決などを進め、びを基盤として社会に
貢献し、研究レベルを向上させた。今後も

(寺尾彰啓)

(C) 山陽新聞社 無断複製・転載を禁じます。